

探究的な学びと生活指導

生活指導主幹 田口 将誉

探究的な学びは、子どもたちが自ら課題を見だし、情報を収集・分析しながら解決策を考えていく学習です。この過程で育まれる主体性や対話を通じた合意形成の力は、生活指導においても重要な資質と言えます。生活上の課題が生じた際に、教師が答えを与えるだけでなく、子どもたち一人一人が課題の原因を考え、よりよい行動を選択していく。探究的な学びと生活指導は、それぞれ別の活動ではなく、自ら課題を見だし、考え、判断し、行動する力を育てるという点で共通の目的をもつのだと思います。

1学期、地域の安全について気付いたことを、児童が状況を記録し、学校へ知らせるという姿が見られました。これは単なる情報提供ではなく、自分たちの生活環境に課題を見だし、その解決に向けて行動しようとした主体的な姿の現れなのだと思います。これからも生活指導では、子どもたちが課題を見だし、周囲と協力しながら安全で安心な学校・地域づくりに参画していく姿を大切にしていきたいと思います。

中学年の探究的な学びの取り組みについて

第3学年 材『すがたを変える大豆』

【3年1組】

国語科「すがたをかえる大豆」の教材を通して、大豆のよさ、工夫について学習しました。「自分の力で考えたり友達と協力したりして、大豆を探究してみたい。」との思いで、やってみたいことをあげてみました。一方は、大豆からきなこを作って、きなこ餅やきなこパンに仕上げる「料理研究チーム」、もう一方は、顕微鏡で見たり、踏んだり、潰したりする「科学研究チーム」の2チームに分かれて準備しています。互いの実験に参加しながら進めていきます。結果はいかに…。

【3年2組】

「大豆から何に変身するんだろう?」と国語「すがたをかえる大豆」の学習を通して、大豆がさまざまな食品に姿を変えることを学びました。「実際にどんなものを研究してみたい?」とみんなで考え、きなこドーナツを作ることにしました。まずは、大豆からきなこを作ってみることにしました。どんなきなこができるのか、そして、スーパーうまいきなこドーナツを作るためにはどうしたらよいのか、これからみんなで研究していきます。

【3年3組】

国語で「すがたを変える大豆」を学習した際、子どもたちから「大豆で色々なものを作りたいなあ」という声があり、総合の学習がスタートしました。納豆、豆腐、きなこなど色々な意見が出ましたが、「何度も挑戦して、おいしいものを作りたい」という思いから、「3年3組だけの豆腐・きなこ」づくりに決定しました。チームごとに必要な材料や作り方を協力して調べ、アイデアを出し合う姿が見られます。子どもたちの「やりたい!」を大切にしながら、学びを深めていきます。

第4学年 材『ジャム作り』

【4年1組】

「美味しいジャムを食べたい!」「じゃあ作ろう!」ということでスタートしたジャム会議。どんな役割が必要か考え、分担を決めました。1学期は、3種類のフルーツジャムを作ることができました。様々反省はあったものの、自分たちで作ったジャムはとても美味しく、大満足で終わることができました。2学期は鳥山福祉作業所で学んだことを生かし、更に美味しいジャム作りを試行錯誤していきたいと思います。

【4年2組】

「秘伝のむぎジャム」をテーマに、オリジナルレシピ作りに取り組んでいます。目標は、①考えたジャムを給食に出してもらうこと、②完成したレシピをおうちの人やお世話になっている方に届けることです。現在は、ブルーベリー、マンゴー、ぶどう、ミックスベリー、枝豆など、さまざまな味に挑戦中!「作る→味わう→考える」を繰り返しながら、秘伝の技を“煮込んで”います。ご家庭でもジャムの話を聞いてみてください。

【4年3組】

「ジャム作り」をテーマに取り組んでいます。初めは鳥山作業所謹製のジャムを試食し、そのおいしさを、自分たちで作ることと味わいたいと思うところからジャム作りをスタートしています。それぞれ役割を分担し、部門ごとに計画を立て、1学期末に試作・試食をすることができました。2学期もさっそく作って食べようと盛り上がり、着々と準備を進めています。